

高等学校 令和4年度（1学年用）教科 アートクラフト 科目 実習A

教科：アートクラフト 科目：実習A

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～ 組

教科担当者：（A組：垣内）（A組：氏家）（A組：宇高）

使用教科書：（デザインの色彩）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につける

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 実習A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
金属工芸の歴史と材料及び美術工芸史の知識を深める	実実習での加工技術を前提にした思考力を身につける	歴史的な名品の造形美と貴重な金属材料での制作の意義を理解する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・絵画 透明水彩で適正な構図や着色をする。 ・デッサン 立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写する。 ・デザイン 色彩の特性を理解し、ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりに表現する。	・絵画 透明水彩絵の具の扱い方と構図、用紙について理解する。 ・デッサン デッサンをする意味と構図、質感、立体感の表現方法を理解する。 ・デザイン 基本的な筆遣いと絵の具の溶き方を理解する。	【絵画】適正な構図や着色をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出たか。	○	○	○	13
		・絵画 透明水彩絵の具での静物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、幾何形体の質感描写。 ・デザイン パターンデザイン。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	13
		・絵画 透明水彩絵の具での人物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、水張り、静物デッサン。 ・デザイン 装飾デザイン。 指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	13
2 学 期	・絵画 透明水彩で適正な構図や着色をする。 ・デッサン 立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写する。 ・デザイン 色彩の特性を理解し、ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりに表現する。	・絵画 透明水彩絵の具の扱い方と構図、用紙について理解する。 ・デッサン デッサンをする意味と構図、質感、立体感の表現方法を理解する。 ・デザイン 基本的な筆遣いと絵の具の溶き方を理解する。	【絵画】適正な構図や着色をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出たか。				13
		・絵画 透明水彩絵の具での静物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、幾何形体の質感描写。 ・デザイン パターンデザイン。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				13
		・絵画 透明水彩絵の具での人物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、水張り、静物デッサン。 ・デザイン 装飾デザイン。 指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				13
3 学 期	・絵画 透明水彩で適正な構図や着色をする。 ・デッサン 立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写する。 ・デザイン 色彩の特性を理解し、ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりに表現する。	・絵画 透明水彩絵の具の扱い方と構図、用紙について理解する。 ・デッサン デッサンをする意味と構図、質感、立体感の表現方法を理解する。 ・デザイン 基本的な筆遣いと絵の具の溶き方を理解する。	【絵画】適正な構図や着色をすることが出来たか。 【デッサン】立体を正確に把握し、対象を丁寧に描写することが出来たか。 【デザイン】ポスターカラーや色鉛筆などを丁寧に使用して、イメージどおりの作品が出たか。				13
		・絵画 透明水彩絵の具での静物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、幾何形体の質感描写。 ・デザイン パターンデザイン。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				13
		・絵画 透明水彩絵の具での人物描写。 ・デッサン 人物クロッキー、水張り、静物デッサン。 ・デザイン 装飾デザイン。 指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】				13
						合計	117

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	中村(パート・ド・ヴェール)・廣川(精密鑄造)・宇高(彫金)・藤原(鍛金)		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	実習A		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	2学年・アートクラフト科		
単位数	4		
科目の目標	アートクラフトの様々な技法の技術を深め、幅を広げて工芸品制作の技術と知識を学ぶ。		
評価の観点	パート・ド・ヴェールの知識・技法を正しく理解し、完成度の高い作品が出来たか。 精密鑄造の知識・技法・機器の操作法を正しく理解し、完成度の高い作品が出来たか。 彫金加工技術の知識・技術を理解し、完成度の高い作品が出来たか。 鍛金技法の知識・技術を理解し、完成度の高い作品が出来たか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目実習Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金	粘土で器の原型を作り、色ガラスを用いたパート・ド・ヴェールでガラスの作品を制作させる。	12
5月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金	ロストワックス技法によるスターリングシルバーや黄銅のジュエリー制作させる。	16
6月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金	金属板等で植物の立体制作をさせる。	16
7月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金	銅板による手絞り花器の制作をさせる。	12
8月			
9月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金		16
10月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金		16
11月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金	粘土で器の原型を作り、色ガラスを用いたパート・ド・ヴェールでガラスの作品を制作させる。	16
12月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金	ロストワックス技法によるスターリングシルバーや黄銅のジュエリー制作させる。	16
1月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金	金属板等で植物の立体制作をさせる。	12
2月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金	銅板による手絞り花器の制作をさせる。	12
3月	パート・ド・ヴェール・精密鑄造・彫金・鍛金		12
		合計	156

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	廣川(石留め)・宇高(絵画模写)・氏家(デザイン)		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	アートクラフト実習B		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	2年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	ジュエリーの石留めとゴム型の技法を学ぶ。 絵画の色彩と構成を理解する。 装飾的な構成を学び、丁寧な制作を行う。		
評価の観点	石留めとゴム型を丁寧に製作できたか。 正確な図形転写と色彩を再現出来たか。 ポスターカラーや色鉛筆などを正確に使用して、イメージ通りの作品が出来たか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目アートクラフト実習Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	石留め・絵画模写・デザイン	ワックスで原型を制作して、鑄造後仕上げる。 図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。 細密ペンを使用して、平面構成を行う。	7
5月	石留め・絵画模写・デザイン	ワックスで原型を制作して、鑄造後仕上げる。 図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。 細密ペンを使用して、平面構成を行う。	8
6月	石留め・絵画模写・デザイン	原型をゴム型にとりワックスで量産させる。 絵の具で色彩を再現させる。 透明水彩で、装飾的な文様画を描く。	7
7月	石留め・絵画模写・デザイン	石留めを行い、ジュエリーを完成させる。 模写で扱った作家の作風にならい、自画像を制作する。 透明水彩で、装飾的な文様画を描く。	7
8月			
9月	石留め・絵画模写・デザイン	ワックスで原型を制作して、鑄造後仕上げる。 図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。 細密ペンを使用して、平面構成を行う。	7
10月	石留め・絵画模写・デザイン	ワックスで原型を制作して、鑄造後仕上げる。 図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。 細密ペンを使用して、平面構成を行う。	7
11月	石留め・絵画模写・デザイン	原型をゴム型にとりワックスで量産させる。 絵の具で色彩を再現させる。 透明水彩で、装飾的な文様画を描く。	7
12月	石留め・絵画模写・デザイン	石留めを行い、ジュエリーを完成させる。 模写で扱った作家の作風にならい、自画像を制作する。 透明水彩で、装飾的な文様画を描く。	7
1月	石留め・絵画模写・デザイン	ワックスで原型を制作して、鑄造後仕上げる。 図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。 細密ペンを使用して、平面構成を行う。	7
2月	石留め・絵画模写・デザイン	原型をゴム型にとりワックスで量産させる。 絵の具で色彩を再現させる。 透明水彩で、装飾的な文様画を描く。	7
3月	石留め・絵画模写・デザイン	石留めを行い、ジュエリーを完成させる。 模写で扱った作家の作風にならい、自画像を制作する。 透明水彩で、装飾的な文様画を描く。	7
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	垣内・藤原		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	情報技術基礎		
使用教科書	情報技術基礎		
指導学年・学科	2学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	画像処理ソフト・スキャナ・デジタルカメラの基本と操作法を学ぶ。 図形処理ソフトの基礎と応用を学ぶ。		
評価の観点	スキャナ・デジタルカメラを使い、画像処理ソフトでイメージ通りの作品を作成出来たか。 図形処理ソフトを使い、イメージ通りの作品を作成出来たか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目情報技術基礎の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時 間数
4月	スキャナーの操作法	スキャナーの使い方とデータの保存について説明する。	7
5月	デジタルカメラの操作 法	デジタルカメラの使い方とデータの保存について説明する。	8
6月	画像処理ソフトの操作 法の説明	基礎から応用までの操作について説明する。	7
7月	テクニカルイラスト (基礎編)	イラストレーターの使い方(データ制作、保存方法)	7
8月			
9月	テクニカルイラスト (基礎編)	基礎図形の制作方法と使い方。基礎図面の制作。	7
10月	スキャナーの操作法	スキャナーの使い方とデータの保存について説明する。	7
11月	デジタルカメラの操作 法	デジタルカメラの使い方とデータの保存について説明する。	7
12月	画像処理ソフトの操作 法の説明	基礎から応用までの操作について説明する。	7
1月	テクニカルイラスト (応用編)	工業デザイン製品制作。(立体図)	7
2月	テクニカルイラスト (応用編)	工業デザイン製品制作(説明図)	7
3月	テクニカルイラスト (応用編)	工業デザイン製品制作(説明図)	7
合計			78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	中村		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	アートクラフトⅡ		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	2学年・アートクラフト科		
単位数	1		
科目の目標	I 学年で学んだ色彩の基礎理論を発展させる。 空間構成において美的な表現力を獲得する。 美的象徴の意味を理解する。		
評価の観点	明度、彩度、色相の三要素と図形の構成要素を活用できたか。 象徴を考慮した意匠と、空間を意識した構成を考えられたか。 完成度の高い作品を制作できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目アートクラフトⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時 間数
4月	美的象徴について	美的象徴の具体例を理解する。動植物について	3
5月	美的象徴について	事物、ヴァニタスについて	4
6月	美的象徴について	西洋と東洋の比較	4
7月	美的象徴について	西洋と東洋の比較	3
8月			
9月	色彩学の応用	「デザインの色相」を用いて色彩を理論的に理解する。補色・色相環の対比を理解する。	4
10月	幾何形体の平面構成	黄金矩形、正方形画面の平面構成。	4
11月	幾何形体の平面構成	黄金矩形、正方形画面の平面構成。	4
12月	文様演習	ケルト、アラベスクの文様を平面構成する。	3
1月	文様演習	ケルト、アラベスクの文様を平面構成する。	3
2月	象徴について	花言葉と図像について	4
3月	象徴について	花言葉と図像について	3
		合計	39

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	藤原		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	アートクラフトデザイン		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	2学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	透視図、表示法からプレゼンテーションまでを学ぶ。		
評価の観点	透視図法が理解され自分で考えた作品の表示ができたか。 各自の考えたテープカッターをデザインの図面及びレンダリングで表現できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目アートクラフトデザインの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	透視図法の理解と表示	一点透視図の表示法を学び、課題を作成する。	7
5月	透視図法の理解と表示	二点透視図の表示法を学び、課題を作成する。	8
6月	透視図法の理解と表示	円の透視の表示法を学び、課題を作成する	7
7月	透視図法の理解と表示	図形の拡大、縮小	7
8月			
9月	透視図法の理解と表示	トロフィーのデザインを考え、透視図法に表示する。	7
10月	レンダリングの理解と表示	ペンシルドローイングを理解し、課題を作成する。	7
11月	レンダリングの理解と表示	ハイライトドローイングを理解し、課題を作成する。	7
12月	レンダリングの理解と表示	カラーペンドローイングを理解し、課題を作成する。	7
1月	プレゼンテーション	テープカッターのデザインを考え、プレゼンテーションパネルにまとめ表示する。 ・各自の考えたデザインを投影図に描く	7
2月	プレゼンテーション	・投影図を基に透視図を描く ・透視図を基にレンダリングを描く	7
3月	プレゼンテーション	・各表示作品を効果的にパネルにレイアウトする	7
合計			78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	氏家		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	選択 アートクラフト実習(立体造形)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	2学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	粘土、紙を用いた立体展開図の理解と制作演習。 素材の違った造形の製作		
評価の観点	短時間で丁寧に粘土造形や紙立体が制作できるか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目選択 アートクラフト実習(立体造形)の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時 間数
4月	粘土造形	質感、土付の表現を覚え立体構成をする。	7
5月	粘土造形	質感、土付の表現を覚え立体構成をする。	8
6月	粘土造形	焼成粘土での塑像	7
7月	粘土造形	焼成粘土での塑像	7
8月			
9月	木工造形	木彫の表現方法を学習し、造形する。	7
10月	木工造形	木彫の表現方法を学習し、造形する。	7
11月	木工造形	木彫の表現方法を学習し、造形する。	7
12月	木工造形	木彫の表現方法を学習し、造形する。	7
1月	紙立体	紙立体の基礎 (カット、ペイストの仕方)	7
2月	紙立体	立方体を基にいろいろ発展させる(分割・組み合わせ)。	7
3月	紙立体	立方体を基にいろいろ発展させる(分割・組み合わせ)。	7
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	大野		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	選択 デッサン I		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	2学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	進学系のデッサン力を身につける。		
評価の観点	短時間でモチーフらしい形態感を表現できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目選択 デッサン I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	首像石膏デッサンの作成	木炭の使用法、構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	7
5月	首像石膏デッサンの作成	木炭の使用法、構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
6月	胸像石膏デッサンの作成	木炭の使用法、構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	7
7月	胸像石膏デッサンの作成	木炭の使用法、構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	7
8月			
9月	胸像石膏デッサンの作成	木炭の使用法、構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	7
10月	胸像石膏デッサンの作成	木炭の使用法、構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	7
11月	胸像石膏デッサンの作成	木炭の使用法、構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	7
12月	胸像石膏デッサンの作成	木炭の使用法、構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	7
1月	粘土レリーフの造形	粘土を用いたデッサンで、立体感等の表現方法を指導する。	7
2月	粘土レリーフの造形	粘土を用いたデッサンで、立体感等の表現方法を指導する。	7
3月	粘土レリーフの造形	粘土を用いたデッサンで、立体感等の表現方法を指導する。	7
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	廣川(鑄金)・宇高(彫金)・神山(鍛金)・氏家(ジュエリー)		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	課題研究		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	5		
科目の目標	アートクラフト科の集大成としての卒業作品を、デザインから制作までを自主的に行う。		
評価の観点	各技法で高度な技術を習得し、イメージとおりの作品が出来たか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目課題研究の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	卒業制作の作成	デザイン・計画・モデル制作の指導	15
5月	卒業制作の作成	デザイン・計画・モデル制作の指導	20
6月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	20
7月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	20
8月			
9月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	25
10月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	25
11月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法の指導	25
12月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法・仕上げ・展示方法の指導	25
1月	卒業制作の作成	作品制作全般・加工法・仕上げ・展示方法の指導	20
2月			
3月			
		合計	195

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	大野(デッサン)・垣内(鍛鉄)・吉田(七宝)・藤原(テープカッター)		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	実習A		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	5		
科目の目標	芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 高度な鑿の使用法と仕上げ(表面処理)の仕方を習得する。 有線七宝の基本技術の修得が成され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 テープカッターをデザインに応じた適切な方法で完成させる。		
評価の観点	モチーフらしい形体感を表現出来たか。 鑿を適切に使って打ち出しの作品が制作できたか。 有線七宝の特性を生かした作品が出来たか。銀線による埴線、釉薬の美しさを表現出来たか。 実際に使用できるテープカッターが適切な材料と技術により制作できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目実習Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。鍛鉄技法により打ち出す技術を習得させる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	15
5月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。鍛鉄技法により打ち出す技術を習得させる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	20
6月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	20
7月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	20
8月			
9月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	25
10月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。鍛鉄技法により打ち出す技術を習得させる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	25
11月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	25
12月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	25
1月	デッサン・鍛鉄・七宝 ・テープカッター	構図、シルエット、立体感、質感等の表現方法を指導する。ロートアイアン製品の制作をさせる。植物をモチーフとした有線七宝の基本技術を修得させる。2年アートクラフトデザインの授業でデザインしたテープカッターを各種材料により制作させる。	20
2月			
3月			
	合計		195

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	垣内・藤原		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	アートクラフトⅡ		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	様々な角度から創造のアイデア、表現方法を探り、グループでまとめる。 宝石の基礎知識や取り扱い方を学ぶ。		
評価の観点	グループ作業の中で個々の考えを構築出来たか。 宝石の適切な取り扱い方がわかる。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目アートクラフトⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	平面から立体 宝石の基礎知識	・ 立体の表現技術の理解と応用 ・ 宝石に要求される条件	8
5月	平面から立体 宝石の基礎知識	・ concept.target.disply.layout anatomy ・ ダイヤモンドの基礎知識	10
6月	平面から立体 宝石の基礎知識	・ logotype.coloreへの考え方 ・ パール・ベリルの基礎知識	8
7月	構成 宝石の基礎知識	・ 実用性のある立体(PD制作) ・ フェルドスパーの基礎知識	8
8月			
9月	構成 宝石調べ学習	・ 展開図を応用したパッケージ ・ 宝石の基礎知識について調べる	10
10月	構成 宝石調べ学習	・ 平面から立体を想像し展開図へ ・ 調べた内容を模造紙にまとめ、プレゼン	10
11月	色彩 アンティークジュエ リー調べ学習	・ 展開図の製図・組み立て・着色 ・ アンティークジュエリーについて調べる	8
12月	色彩 アンティークジュエ リー調べ学習	・ 展開図の製図・組み立て・着色 ・ アンティークジュエリーについて調べる ・ 調べた内容を模造紙にまとめる	8
1月	色彩 アンティークジュエ リー調べ学習	・ 展開図の製図・組み立て・着色。作品の意味合いを探求する ・ 調べた内容を模造紙にまとめ、プレゼン	8
2月			
3月			
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	氏家		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	アートクラフトデザイン		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	デザインの基本を見直し、完成度の高い作品を制作する		
評価の観点	様々な角度からデザインのイメージを膨らませ、正確に表現することができたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目アートクラフトデザインの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	平面構成の作成	ポスターカラー、アクリル絵の具等での基本的な平面構成を作成させる。	8
5月	平面構成の作成	ポスターカラー、アクリル絵の具等での基本的な平面構成を作成させる。	10
6月	コインデザイン	コインデザインの図案を作成する。	8
7月	コインデザイン	コインデザインの図案を作成する。	8
8月			
9月	紙立体の作成	動物をテーマに、紙のフォルムを使った立体造形を作成させる。	10
10月	色彩・構成の発展	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	10
11月	色彩・構成の発展	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	8
12月	色彩・構成の発展	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	8
1月	色彩・構成の発展	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	8
2月			
3月			
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	垣内		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	鍛金		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	単純な形の成形をイメージとおりに行う。		
評価の観点	鍛金技法を利用し、家庭用品を身近にとらえられるか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目鍛金の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	鍛金 銅製片手鍋の製作	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
5月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	10
6月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
7月	鍛金 銅製片手鍋の製作	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
8月			
9月	鍛金 銅製片手鍋の製作	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	10
10月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	10
11月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
12月	鍛金 銅製片手鍋の製作	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
1月	鍛金 銅製片手鍋の製作	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの指導をする。	8
2月			
3月			
合計			78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	喜多崎		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	プレゼン		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	(1) 写真編集ソフト、ページレイアウトソフトの使い方や取り扱いを学習する。 (2) 進路先に適したポートフォリオを制作する。 (3) 中学生をターゲットとしたアートクラフト科のパンフレットを制作する。		
評価の観点	写真編集ソフト、ページレイアウトソフトの使い方や取り扱いについて理解できたか。 進路先に適したポートフォリオを制作することができたか。 中学生をターゲットとしたアートクラフト科のパンフレットを制作することができたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目プレゼンの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ポートフォリオについて	コンセプトを決定し、ページ校正を考えさせる。	8
5月	写真撮影	作品の写真撮影、ライティング	10
6月	紙面編集・校正	ページレイアウトソフトを用いた編集及び校正	8
7月	紙面校正	ページレイアウトソフトを用いた校正	8
8月			
9月	ポートフォリオ完成	完成作品の講評	10
10月	アートクラフト科のパンフレットについて	ターゲット・ページ数などの再確認とコンセプトに決定。ページ担当者の決定。	10
11月	アートクラフト科のパンフレットについて	ターゲット・ページ数などの再確認とコンセプトに決定。ページ担当者の決定。	8
12月	紙面編集および写真撮影	作品の写真撮影およびページレイアウトソフトによる紙面編集。	8
1月	校正	制作した紙面を持ち寄り、よりよくするためにはどうしたら良いか話し合いの場をもたせる。	8
2月			
3月			
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	廣川		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	映像		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	(1) デジタルビデオカメラ、映像編集ソフトの使い方や取り扱いを学習する。 (2) 映像で自分のイメージを表現する力を養う。 (3) 実際の撮影の工程を学び、知識を高める。		
評価の観点	デジタルビデオカメラ、映像編集ソフトの使い方や取り扱いについて理解できたか。 映像で自分のイメージを表現することができたか。 実際の撮影の工程を理解できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目映像の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	デジタルビデオカメラの使い方	デジタルビデオカメラの使い方と注意事項	8
5月	映像編集ソフトの使い方	映像編集ソフトの使い方と注意事項	10
6月	映像編集ソフトの使い方	映像編集ソフトの使い方と注意事項	8
7月	映像編集ソフトの使い方	映像編集ソフトの使い方と注意事項	8
8月			
9月	アニメーションについて	静止画の連続でアニメーションを制作。	10
10月	アニメーションについて	静止画の連続でアニメーションを制作。	10
11月	ストップモーションムービーについて	静止画の連続で動画を制作。	8
12月	自由制作	作品のテーマやコンセプトを決め、制作する。	8
1月	自由制作	作品のテーマやコンセプトを決め、制作する。	8
2月			
3月			
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	大野		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	デッサンⅡ		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	基本形体の把握を深め、美大合格水準のデッサン力を身に付ける。		
評価の観点	短時間でモチーフラしい形体感を表現できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目デッサンⅡの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	デッサン 基礎作品の作成	鉛筆の表現方法と形態把握の確認。 基礎作品の作成	8
5月	デッサン 基礎作品の作成	鉛筆の表現方法と形態把握の確認。 基礎作品の作成	10
6月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
7月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
8月			
9月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	10
10月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	10
11月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
12月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
1月	デッサン 受験出題作品の作成	石膏・静物デッサン 構図・シルエット・立体感等の表現方法を指導する。	8
2月			
3月			
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	垣内		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	光造形(選択)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	(1) CGソフト、造形機の使い方や取り扱いを学習する。 (2) ジュエリーのデザイン力を高める。 (3) デザイン、造形、加工と実際の作業工程を学び、知識を高める。		
評価の観点	学んだ技法で作品が制作できたか。 CADの特性を生かした造型感覚を習得できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目光造形の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	コンピュータの使い方	ソフトの操作方法を習得させる。	8
5月	CGソフトの使い方	デザイン画製作。	10
6月	CGにおけるジュエリーデザインについて	CADの特性を理解させる。3Dデザインソフトの使い方	8
7月	CGにおけるジュエリーデザインについて	CADの特性を生かしたジュエリーを制作させる。	8
8月			
9月	造形加工について	光造形ソフトの使い方と理解。	10
10月	造形加工について	光造形機データに変換処理。	10
11月	造形加工について	光造形機による原型制作と鋳造	8
12月	表面処理について	石膏鋳造、ロストワックス、表面処理法など。	8
1月	鋳造について	研磨、仕上げ加工を行う。	8
2月			
3月			
合計			78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	氏家		
教科の名称	工業・アートクラフト		
科目の名称	アートクラフト研究		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年アートクラフト科		
単位数	2		
科目の目標	基本的なとんぼ玉の制作技法を習得する。		
評価の観点	学んだ技法で作品が制作できたか。		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目とんぼ玉の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時 間数
4月	とんぼ玉	理型材、ガラス融解用具の扱い方を学ぶ	8
5月	とんぼ玉	基本的な玉の作り方を学ぶ。	10
6月	とんぼ玉	基本的な玉の作り方を学ぶ。	8
7月	とんぼ玉	基本的な玉の作り方を学ぶ。	8
8月			
9月	とんぼ玉	レース玉を作るなど技法の展開を図る	10
10月	とんぼ玉	レース玉を作るなど技法の展開を図る	10
11月	とんぼ玉	レース玉を作るなど技法の展開を図る	8
12月	とんぼ玉	レース玉を作るなど技法の展開を図る	8
1月	とんぼ玉	レース玉を作るなど技法の展開を図る	8
2月			
3月			
		合計	78